

No.618 (改題578号)
2023年
2月22日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

王子公園 再整備問題

大学公募・公園売却は凍結を 「公園の未来はみんなが決める」



昨年10月から王子公園の再整備についてのシール投票の呼びかけなどをつづける「王子公園・市民ミーティング」実行委の有志女性たち=2月8日、神戸市灘区

王子公園(神戸市灘区)再整備問題をめぐり、市民の声を受け入れようとする神戸市の強引な計画推進は住民自治に背くものだと、王子公園の未来はみんなが決めるを合言葉に活動を重ねてきた「王子公園・市民ミーティング」実行委員会(事務局・こうべ保健サービス)は昨年12月19日、市民の意見を基に専門家も交えて策定した再整備案「王子公園・市民ビジョン」を発表。しかしその一方で、神戸市は翌日の20日に大学誘致の公募要項を発表し、21日から公募を開始した。すでに複数の大学が公募に意欲的とされる。2月13日からの神戸市会では再整備計画をめぐる議論も展開される。こうした重要な局面を迎え、この問題への市民の関心をさらに高め、主権者である市民の声を集めようと、同実行委員会は一段と活動に力を込めている。

再整備計画をめぐる神戸市の今後のスケジュールは以下のようなもの。2月14日までに応募予定者登録を受け付け、3月27日から4月28日までを応募申込の受付期間とし、5月下旬にはプレゼンテーションを実施。6月頃に優先交渉権者の決定、公表を行い、基本計画の最終確定、都市計画手続きへと進む。こうした流れに抗し、応募に意欲的な大学に応募を辞退させるような世

論形成とするための行動が必要だと、「王子公園・市民ミーティング」実行委員会は、応募申込の受付までの期間がきわめて重要な局面だと、いま以下のような取り組みを進めている。

- ①まず、市民に対しては、引き続きチラシやホームページ(「王子公園・市民ミーティング」で検索)などで神戸市の再整備計画の問題点とそれと対抗する「王子公園・市民ビジョン」についての周知・宣伝を図る。
②市会議員に対しては、「公開アンケート」を実施し、結果を公開する。
③神戸市会に対しては、2月議会に請願を提出する。
④応募を予定する大学の大学にはアプローチを行ってきているが、市民

どの懇談会の場の設定を要請し、その実現を図る。⑤さらにはメディア対策も積極的に行う、などである。こうした活動の一環として、昨年10月から実行委員会の有志の女性たちが毎週水曜日の昼間にスタンディング行動を始めましたが、その行動は今も継続している。神戸市会ではつなぐ議員団と共産党議員団は大学誘致と公園の土地売却



「王子公園・市民ビジョン」をアピールするチラシ

京丹後市・米軍Xバンドレーダー基地 ますます進む基地強化に怒り

基地反対近畿連絡会が旗開き



基地をめぐる最近の状況を報告する永井友昭・京丹後市議=2月5日、京都市

米軍Xバンドレーダー基地反対近畿連絡会は2月5日、京都市内で旗開きを開催した。岸田政権が「安保関連3文書」で自衛隊による敵基地攻撃能力の保有を宣言するなど、安保体制・戦争体制の飛躍的な強化に踏み出し、戦争する国づくりが強められる中、京丹後市にあるXバンドレーダー基地もますます強化されようとしている。基地の監視体制が強められ、「基地警護」と称した日米合同軍事演習も年を追って強化され、同時に米軍関係者による人身事故の隠ぺい問題、発電機の夜間稼働による低周波騒音被害など、今もなお住民の「安全・安心」を脅かす事態が続いている。旗開きは、近畿連絡会代表世話人の大澤宗則さ

んのであいつに始まり、続いて京丹後市会議員の永井友昭さんが基地の現状を報告した。その中でとりわけ強調されたのが、昨年11月に起きた米軍関係者の車と住民が接触した人身事故のことだ。当初、米軍は軽微な物損事故として取り扱い、隠蔽しようとしたが、永井さんが議会で京丹後市当局

同性婚問題で、図らずもその「家族観」が見えた岸田首相。(前) 秘書官がオフレコ取材で発した本音の差別発言と共に世界中を駆け巡り、その古い価値観への批判を受けている▼日本は婚姻での夫婦同姓を義務付けている世界で唯一の国だ。戦後、経済復興最優先で突き進んできた社会は、結婚し、女が家事・育児・介護を引き受けることで男が働くことに専念することが経済成長を支える理想的な「家族」と位置付け、社会保障や税制度によって固定化してきた▼描かれた理想の家族はすでに少数になっている。経済成長どころか、食べる、学ぶ、働く等の基本を維持できない程の低所得者・家族が激増している。ある人間と位置付ける扱いは程遠い「価値観」が、非正規労働者を大量に生み出すことになった派遣労働法や国民年金3号非保険者制度を継続させてきた▼1日の予算委員会でも岸田首相は社会保障制度や税制度上の「年収の壁」問題の解消に向けて制度を見直すと言及した。「家族」単位維持のために複雑化した年金制度等を時間がかかってもほぐしていくためには、社会に生きる個人が単位だとの「価値観」を醸成していく必要がある。私たちも試されている。

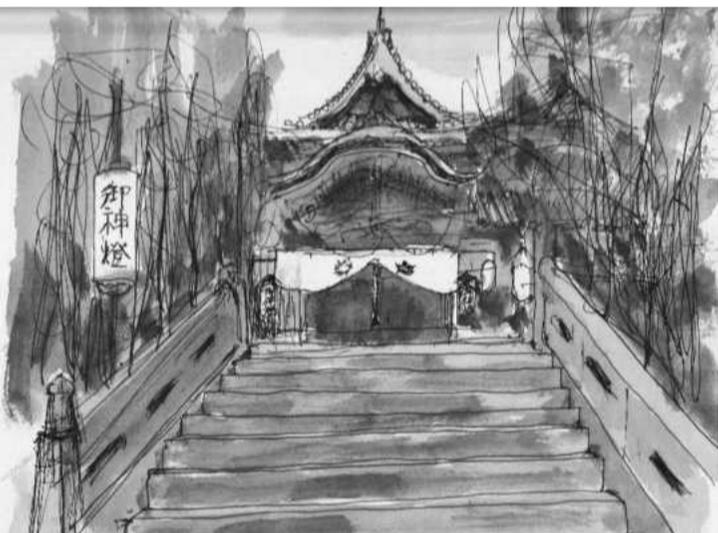
ひょうご 137 描き歩き



大避神社 (赤穂市坂越)

坂越(さご)湾を望む宝珠山の山麓に秦河勝(はたのかわかた)を祀る大避(おおさけ)神社がある。河勝は聖徳太子の同志として国造りにも大きく貢献した人物と言われ、太子の死後、海路をたどって坂越に移り、千種川流域の開拓を進め、養蚕技術も伝えた。この地で死去し、地元民がその霊を祀って建てたのがこの神社と言われる。坂越湾に浮かぶ生島(いきしま)・国の天然記念物)に墓があり神域とされて現在も人の立ち入りが禁じられている。毎年10月の第2日曜日、秦河勝が坂越に渡来した伝承を再現する「坂越の船祭り」(重要無形民俗文化財)が荘厳華麗、勇壮に行われる。大阪天満宮の

天神祭、安芸厳島神社の管絃祭とともに瀬戸内海3大船祭の1つに数えられるこの和船の船渡御祭は、ご神体が大避神社を出て浜に下り、神輿船に乗船し、和船12隻が船行列を組む。船上で獅子舞や雅楽が奏でられ御旅所のある生島までを海上の大名行列よろしく華麗に往復し、夕刻に高張提灯を灯して船団が再び神社に還幸して祭事は終る。「大避」の「避」は秦河勝が蘇我入鹿の難を避けるの意味から、地名の「坂越」も「避来(さげこ)」からきているとも。この時期、浜の海の駅・しおさい市場は力キで賑わう。(嶋谷)



# 問題への取り組みの反省から ハラスメントの学習会

## 新社会党兵庫県本部



牟田和恵・大阪大学大学院名譽教授の講演でハラスメント問題について学んだ＝1月30日、神戸市中央区

新社会党兵庫県本部（粟原富夫委員長）は1月30日、党内向けに「ジェンダー学習会」をリモートも併用して中央区文化センターで行った。県本部内で発生したハラスメント問題に適切な対応ができなかった反省から、ジェンダーとは何か、ハラスメントとは何か、から学び直そうとの取り組みだ。大阪大学大学院名譽教授の牟田和恵さん（ジェンダー論・社会

学）に講師を依頼し、「ハラスメント問題の理解と対応」と題する講演を受けた。講演要旨は以下の通り。

▼（数々のセクハラ裁判支援や研究などの経験から言えることは）、セクハラ、モラハラ、アカハラなどにかかわらず、ハラスメントは自分がしたことがハラスメントとは考えず、「通常の指導」「誤解」「相手に落ち度」と考える。セクハラの場合、

加害者は自分側のストーリーをまき散らし、周囲を巻きこみ、加害を拡大させることが多く、時に対抗訴訟も起こす。

▼問題解決にあたる側の錯覚として、ハラスメントが白か黒か解明できるとは考えない。しかし、双方の言い分は全然違うので、真相解明不十分として問題解決が遅れている。もたもたしている間に、被害者はもともとハラスメント被害者だけでは

なく、就労・就学環境の悪化や精神的苦痛などさらなるダメージを受ける。とにかくすべきは、被害者の救済、環境回復である。

▼2次被害、3次被害は組織の責任である。そうならないためには、被害者の小さな芽の段階から改善を図っていく。被害者が我慢を続けることなく相談しやすい環境を作るなど、リーダーシップが求められる。

兵庫県本部は、今回の講演で学んだことを今後に生かし、差別意識の克服や人権意識の確立に向けて継続して努力していくことを確認し、学習会を終えた。

（彩）

### 5・3兵庫憲法集会

〈アフレ集会〉

- 3月7日（火）18時30分
- 長田区文化センター大会議室
- 講演「敵基地攻撃と日米一体化 防衛費増額は国民負担に」
- 半田滋さん（防衛ジャーナリスト）

〈本集会（1万人規模）〉

- 5月3日（水）14時～みなのもり公園
- ゲスト 松尾貴史さん（タレント）

総がかり行動・兵庫

## 杉並区長選 岸本聡子はなぜ勝った？

### 内田聖子さん講演要旨抄録③

透明性、公共の再生、ジェンダー平等……今後の区政での政策的課題

私たちがこだわった政策はほんの一例だが、当たり前のことがなかなかできていないというのが日本の国政も含めた政治の状況。気候変動という大きな問題をはじめ、いろいろと政策を掲げているが、透明性とか説明責任がこれまでの杉並区の区政でも徹底的に欠落している。職員もトップダウンで、しかも割とパワハラ的な体質の区長だったので、職員は区民の方を向いて言われたことをやるような体質だった。それも改革していかないとやらない。

区長の職員の部長クラスに女性ゼロ。部長は340人いるが女性ゼロ。これは、私たちが岸本さんが区長になるまで、区の職員の部長クラスに女性ゼロ。部長は340人いるが女性ゼロ。これは、私たちが

「優しい熱狂、楽しい運動、やかましくないムーブメント」

結果的に187票差というの、今いろいろなところで口に出すたびに胃が痛くなる思いだが、すごいことだ。そんな僅差で勝った。ありがたいことに投票率が5・5ポイント上がった。とはいえ、まだ37・5%で6割以上の人が選挙に行っていない。このことをどうするかというのが、次の4年後への私たちの課題だ。投票所別にみれば、40%を超えているところも何か所かあって、それが、おそらく投票率アップにつながる。言わ

最後に一点、今回の勝利の意味を少しだけ整理したい。

いま世界中で、ここまでするべき政策をやるの

抗しても、自分たちは住民の暮らしを守るとい

うようなことを毅然とや

っているような自治体が、

世界を見渡せばいくつか

出てきている。特にヨーロッパに。岸本さんはずっとそういう運動、そういう自治体を調査して発信してきたので、そうした「恐れない自治体」の流れの中にぜひ杉並区もつながっていきたく思っている。これは時間がかかると思うが、それからもう一点、日

## 市民を守ることを恐れない自治体づくりへ

それらから、公共の再生だ。これだけ新自由主義でいろんなものが削られていき、職員も含めてギ

リギリのところで仕事をしている。それで費の高い公共サービスの提供などできるわけがない。だから、区の職員もコストじゃなくて財産だとばかりとち出した。

それから、当事者の声を聞くとか対話とか、これも当たり前前の事だができていない。

そしてやはり何よりもジェンダー平等だ。区の職員も正直、セクハラとかパワハラがある。その被害にあっている方の多くはやはり女性たちだ。非正規の女性たちにしわ寄せが行く。杉並区にベラルで先進的みたいなイメージを持つ人もいる

が、おそろく投票率アップにつながる。言わ

た。こんなふうに文学的に表現してくれてありがとうという思いで、そういうふうにも映ったということをとってもありがたい受け取っている。

た。こんなふうに文学的に表現してくれてありがとうという思いで、そういうふうにも映ったということをとってもありがたい受け取っている。

た。こんなふうに文学的に表現してくれてありがとうという思いで、そういうふうにも映ったということをとってもありがたい受け取っている。

た。こんなふうに文学的に表現してくれてありがとうという思いで、そういうふうにも映ったということをとってもありがたい受け取っている。

た。こんなふうに文学的に表現してくれてありがとうという思いで、そういうふうにも映ったということをとってもありがたい受け取っている。



【文責、見出しは編集部】

岸本さんはずっとそういう運動、そういう自治体を調査して発信してきたので、そうした「恐れない自治体」の流れの中にぜひ杉並区もつながっていきたく思っている。これは時間がかかると思うが、それからもう一点、日

た。こんなふうに文学的に表現してくれてありがとうという思いで、そういうふうにも映ったということをとってもありがたい受け取っている。

# 統一自治体選・選対からの報告②

## 33歳・無所属・挑戦者

### 神戸市議選(須磨区)さかい大起



昨年10月から連日朝夕の駅立ちを続けると共に街演とあいさつ回りにも力を入れるさかい大起さん

さかい大起さんが、市議選の立候補を決意したのが7月の参院選後。8・9月は、後援会の立

ち上げなど走りながらの準備に入った。実際に行動を始めたのが10月初め。「挑戦者」

「さかい大起と市政を考える会」ののぼりを立て朝夕、地下鉄名谷、妙法寺の両駅を中心に駅頭に立ち、33歳の若さを強調しながら、「子育て・教育の重視」「明石の5つの無料化を神戸でも」「奨学金対策の充実」「行政・年金・働き方改革のプロ」などを丁寧に訴えつづけている。

駅頭に立っている回数、他の予定候補者と比べて群を抜いている。マイクを通しての訴えも説得力があり、行動当初から「よしの若い人に頑張る」

新人であり、まだまだ名前が浸透しきっていないが、地道な活動と一貫した政策・訴えは共感を呼びつつある。そこで、3月19日(北部)と21日(南部)に選挙本番前の「勝利をめざす集い」を

「さかい大起と市政を考える会」ののぼりを立て朝夕、地下鉄名谷、妙法寺の両駅を中心に駅頭に立ち、33歳の若さを強調しながら、「子育て・教育の重視」「明石の5つの無料化を神戸でも」「奨学金対策の充実」「行政・年金・働き方改革のプロ」などを丁寧に訴えつづけている。

「さかい大起と市政を考える会」ののぼりを立て朝夕、地下鉄名谷、妙法寺の両駅を中心に駅頭に立ち、33歳の若さを強調しながら、「子育て・教育の重視」「明石の5つの無料化を神戸でも」「奨学金対策の充実」「行政・年金・働き方改革のプロ」などを丁寧に訴えつづけている。

岸田政権による原発政策の大転換を徹底的に批判した守田敏也さん=1月28日、加古川市



守田敏也さんが「瀬戸内沿岸連続講演会」として加古川市で受け入れ、「守田敏也さんお話し会」を開いた。

「原発は終わっている」が発はりまアクションがメインテーマの「お話し」では、昨年8月から急に岸田首相が議長になって進める「GX(グリーン・トランスフォーメーション)会議問題」や「地球温暖化防止のため

「原発は終わっている」が発はりまアクションがメインテーマの「お話し」では、昨年8月から急に岸田首相が議長になって進める「GX(グリーン・トランスフォーメーション)会議問題」や「地球温暖化防止のため

「原発は終わっている」が発はりまアクションがメインテーマの「お話し」では、昨年8月から急に岸田首相が議長になって進める「GX(グリーン・トランスフォーメーション)会議問題」や「地球温暖化防止のため

## 「原発は終わっている」守田敏也さんの講演会

### 脱原発はりまアクションが開催

原発問題に精力的に携わるフリージャーナリス

戸内沿岸連続講演会」として加古川市で受け入れ、「守田敏也さんお話し会」を開いた。

「原発は終わっている」が発はりまアクションがメインテーマの「お話し」では、昨年8月から急に岸田首相が議長になって進める「GX(グリーン・トランスフォーメーション)会議問題」や「地球温暖化防止のため

「原発は終わっている」が発はりまアクションがメインテーマの「お話し」では、昨年8月から急に岸田首相が議長になって進める「GX(グリーン・トランスフォーメーション)会議問題」や「地球温暖化防止のため

「原発は終わっている」が発はりまアクションがメインテーマの「お話し」では、昨年8月から急に岸田首相が議長になって進める「GX(グリーン・トランスフォーメーション)会議問題」や「地球温暖化防止のため

## 安全・安心のまちづくり

### 明石市議選 よしだ秀夫

これまですべての市議会定例会で質問に立ち、コロナ禍で困窮する市民への支援、医療・保育・介護などのケア労働者の処遇改善、拡大している社会的格差の是正、すべての人が安全・安心に暮らせるまちづくり、「地域公共サービスにもっと投資を」と施策の提案を精力的に重ねてきた。



すべての定例会で質問に立ち、安全・安心のまちづくりの提案を続けてきたよしだ秀夫さん

「地域公共サービスにもっと投資を」と施策の提案を精力的に重ねてきた。今回の選挙は、引退する現市長が立ち上げた「地域政党」をはじめ、維新からも新人が多数立候補する予定で、30の議席に対し40人以上で争うという大変厳しい選挙と

## 明石で脱原発学習会

### 脱原発明石・たこの会と憲法を生かす会・明石が共催

「脱原発明石・たこの会」と憲法を生かす会・明石の共催で、新聞を見て参加した市民も含め60人近くが参加し、岸田政権の突然の原発政策転換への危機感、関心の高さが確認された。



「脱原発明石・たこの会」と憲法を生かす会・明石の共催で、新聞を見て参加した市民も含め60人近くが参加し、岸田政権の突然の原発政策転換への危機感、関心の高さが確認された。

「脱原発明石・たこの会」と憲法を生かす会・明石の共催で、新聞を見て参加した市民も含め60人近くが参加し、岸田政権の突然の原発政策転換への危機感、関心の高さが確認された。

## 地域ユニオン あちこちあれこれ

## 求められるギグワーカーのセーフネットの早急な整備

コロナによるステイホームが常態化するなかで、働き手が必要が拡大した。それに伴い、ネット通販やフードデリバリーなど、インターネット上のプラットフォームを介して働く「ギグワーカー」と言われる単発の仕事が増えている。個人請負やフリーランスだ。最近、武庫川ユニオンにはそれらの配達員からの相談が増えている。アマゾンや出前館などは、スマホで契約し、アカウントを与えられてアプリから仕事を請負うことになる。

「ギグワーカー」は収入が不安定で、立場も弱く、不利な取引条件を強いられるが、最低賃金も保障されず、労災保険にも特別加入に留まるなど、労働者との格差がある。早急にセーフネットの整備が求められる。

# 若者のひろば

統一地方選まであとひと月半を切った。昨年の参院選での岡崎彩子さんに続いて、同じ党青年委員会のさかい大起さんや要コウタさんも議席獲得をめざして頑張っている。支援する身にも力が入る。選挙を前に、昨年の参院選を振り返り、その中で経験したSNSの使い方について感じたことを述べてみたい。

私は参院選で岡崎彩子さんが候補者になる、という知らせを受けて「それならば全力で応援したい」と考えて大学の授業の合間や、バイトが休みの日などを使って可能な限り応援をしてきた。

しかし、実際に集会に行く、街頭演説を手伝うとなると非常に時間がかかり(大学が京都にあるのでそこから兵庫に戻るのには非常に難しい)、活動できる日も限られてくるのでどうしようかと考えた結果、大学の友人などにSNSで、私の場合はTwitterで投票の呼びかけを選挙期間中に行ったりもした。実際に岡崎さんに投票して、かつ他の友人にオスメの候補者として紹介してくれていた私の同級生も現れ、投票こそしなかったものの新社会党に対して関心を向けてくれた同年代の若者を複数

人確認することができた。そういった点ではSNSでの発信は一定の意義があったように思う。

しかし、これはあくまで私個人にとっては大きな成果ではあるものの、選挙結果を考えると大きな成果とはどうしても言い難いと思うし、SNSでの発信というのは少なくとも戦況を大きく変える

## 選挙でのSNSの使い方の一考察

ik tokなども使ってアピールしていた。立憲民主党のある全国比例候補は、Twitterの「スペース」という機能を駆使して30日連続で様々な著名人や他の議員などの対談を行うなどの工夫をしていた。他にも各党で様々な候補者がSNS発信を活かして日々の活動やネット集会を行っていたものの、最終的な選挙結果を見る限り、その活動が劇的に票を増やして当選に結びついていたという候補者は残念ながら見当たらない。自民党の全国比例区でトップ当選を果たした赤松健氏もSNS発信には積極的だったものの、彼の場合は漫画家として名前を知られていたからという側面が非常に大きいと考えるのが妥当ではないかと考えられる。

SNSを中心としたオンラインでの発信は非常に大事だと思ふ。しかし、あの手の発信はどうしても自分たちの身内にしか広がらないし、普段からネットで時事問題などを追っていない人に自分たちの投稿が目に入る可能性は高くない。なので、あくまで「ネットを使って票を取れるようになる」という姿勢はあまり効果的ではなく、「活動報告や今後の日程の予告をしよう、その上で自分に興味を持ってくれた人が出てきたら嬉しいな」といった程度でよいだろうと考えた。

今回の参院選でも前回、前々回に引き続きネットでの発信を積極的に行っていた候補者は各党に存在していた。岡崎さんと同じように社民党の全国比例区の名簿に登録されていた候補者の1人は、InstagramやT

## 『わたしの女工哀史』

高木としを著／草土文化、岩波文庫(2015年再版)／中古

本紙の読者SAさんからのメールを以下に紹介します。

「最近読んだ本に『私の女工哀史』というのがあります、細井和喜蔵の『女工哀史』は有名ですが、この本は全く知りませんでした。著者の高井としをさんは細井の妻で、この『女工哀史』は2人の共著のようなもの、というところも知りませんでした。いわゆる法律婚でなかったために妻の存在は知られることがなかったようです。

で、折があって『私の女工哀史』を読んでびっくり仰天。というのは、細井が亡くなったのち、高井さんは再婚した夫とともに関西に来て労働運動に参加。その夫に死なれて、なんと伊丹に来て極貧の中で日雇い生活をし、『伊丹全日自労』を立ち上げて初代委員長に

### 本棚

なります。伊丹市役所で座り込んだり、労働運動の中心にいます。私は伊丹市立高校に勤務したので兵高教と同時に自治労傘下の組合員です、自治労は伊丹地労協でもあって、この全日自労とは組合仲間ですが、私は全くこの人のことを知りませんでした。彼女は71年には退職、私は77年から伊丹に勤務で、すれ違いだから知らないのも仕方ないですが、戦後の伊丹労働運動関係の資料や書籍にあたってみましたが、彼女は登場しないんです。伊丹全日自労の委員長ですよ。考えるに高井さんが女性だから、そして貧しい底辺の日雇いだから完全に無視されたのかなあと。彼女の『私の女工哀史』には伊丹での生活闘争のことが満載なのに。

## 『女工哀史』の著者の妻の生きざま

『女工哀史』を葬り去ろうとする攻撃は、細井和喜蔵未亡人のご乱行、という記事まで出して就職の妨害もしました。

大阪の紡績工場働く中で賀川豊彦さんの講演を聞いたこと、そこで高井信太郎と再会し、西宮市の賀川豊彦さんの家にお世話になり再婚。高井は労働組合オルグで何度も特高により留置。河上丈太郎さんにまで尽力してもらっています。1945年8月6日の西宮空襲で地獄を見、高井はそのやけどで亡くなったということも生々しく書かれています。

その後の闇市の話や裁判闘争、水道の確保ニコソコから全日自労組合結成と日給や待遇改善、健康保険加入、保育所から伊丹の養老院づくりにまで。こういう人の闘いに今の自治労臨闘評の闘いはつながっている、と思いませんか。」

再度、SAさんから。「2015年の岩波の本に斎藤美奈子が解説を書いていて、なぜこれが2015年に再版されるに至ったか。高井としをさんを再発見された方々のドラマがあり、それだけでも映画のような……。それもまた驚きの連続です。ぜひその解説も読んでみてください。高井としをって男名前と思われるのは埋もれた原因のようですね。『伊丹地労協50年史』というのを見ると、毎年の役員一覧に、厚生文化担当とかで2度ほど名前が出てきますが、役員20人くらいの中に1人だけ女性、それも男名と思われるので気が付きませんでした。労働組合の役員がほぼ100パーセント男性というのもジェンダー視点で見ると驚きという別の発見がありました。」

(小城智子)

## モロッコ、彼女たちの朝

モロッコのカサブランカの路地を臨月のサミアがさまよう。1軒1軒家の扉をたたき、「家政婦でも何でもします。仕事はありますか」と尋ねて回る。しかし、どの家でも冷たくあしらわれる。モロッコでは、未婚の母はタブーであり、そのためにサミアは美容師の仕事

事も住まいも失っていた。ある家の扉をたたいて、同じように仕事がないか尋ねる。小さなパン屋を営むアラの店だった。しかし、対応は同じだ。もう日も暮れる。サミアはアラの店の前の路上に座り込んで夜を過ごすことにした。そんな彼女の姿を見かねたアラは、一晩だけと念を押して家に泊まらせた。翌日、不安な表情のサミアを心配したアラは、気は進まないものの、数日なら家にもいいと許可をす



ろうから、産んだ子はすぐに養子に出す。そして実家へ帰り、結婚してすべてを忘れる」と言う。アラは「養子に出してしまったら後戻りができないよ」と説得するが、サミアはかたくなだ。サミアは、アラの部屋で多くのカセットテープを見つけたので、店頭でその音楽を流したが、アラは怒り、小競り合いになってしまふ。カセットテープに録音されていた音楽には、亡き夫との思い出が詰まっていた。シングルマザーとして生

きていくために過去は封印していたのだ。しかし、その夜、アラは亡くなった夫についてサミアに打ち明ける。アラの夫は漁師で、ある日事故に巻き込まれて亡くなってしまったが、埋葬の準備を速やかに行うことを理由に、妻であるのに遺体に触れさせてさえもらえなかった。サミアは、シングルマザーの厳しさを再確認することになる。しかしアラは、これをきっかけに女性としての自分を見つめ直し、彼女に好意を寄せているスリマニにも心を開こうと思ふようになった。そんな矢先、サミアが破産する。助産師の下で無事出産はしたが、サミアは生まれた子どもにも名前を付

けないどころか、顔も見たくない涙を流した。この物語は、監督・マリヤム・トゥザニの経験をもとに作られた。彼女の両親が、未婚のまま妊娠した、しかも一切面識のない女性を迎え入れたことがあるのだ。この映画は、本国のモロッコでは議論を巻き起こした。婚前交渉と中絶は違法、また、離婚や死別で夫を失った女性の社会的地位が低かったモロッコで、「普通」ではない女性を正面から取り上げた映画だったからである。

(容)

## シネマランド 孤独を抱える2人の女性が心を通わす

監督 IIマリヤム・トゥザニ / モロッコ・フランス・ベルギー / 2019年 / 101分